

2008

12月

第11号



ウツディとよた

WOODY TOYOTA COMMUNICATION

通信

〈特集〉 ●関連記事は2～5ページ
もみじ市祭り



【発行日】平成20年12月1日
【発行】豊田森林組合
〒444-2424
豊田市足助町横枕3番地1
TEL 0565-61-1616
FAX 0565-61-1617

〈Eメール〉
soumu@woodytoyota.net

〈ホームページ〉
<http://www.woodytoyota.net/>

●表紙／福山 豊さん(6ページで紹介)

平成20年度もみじ市祭りの活動テーマ

山のことを考え、 行動しよう

「山のことを考え、行動しよう」のテーマで、10月25日、26日の両日にわたって、「豊田森林組合もみじ市祭り」を組合事務所(足助町地内)周辺で開催した。

今年のもみじ市祭りは、豊田市森づくり条例が定める「森づくり月間/10月」、「森づくりの日/10月26日」の趣旨を活かすような事業を計画。新しい事業として、森づくり現地見学会(バスツアー)、発表会、講演会、高性能林業機械の導入に伴う安全祈願祭と、継続事業として、優良材品評会、丸太の値段当てクイズ、林業機械の展示・販売などを実施。組合員を中心に約500人の参加があった。今号では、森づくりに視点をおき、もみじ市祭りをレポートした。



森づくり 現地見学会 (バスツアー)

地域森づくり会議から37人が参加 稲武地区など3カ所を見学

市内のスギ、ヒノキの人工林は、45年生以上が約50%を占める現状にある。しかし、木材価格の長期低迷と作業の非効率で林業の採算性は、著しく悪くなっている。このため、山に材積はあるものの、伐採、搬出をしない、間伐をしない、という手遅れ人工林が人工林の約7割に達している。

そこで、高性能林業機械を使って、作業性の効率化と生産性の向上を図り、森林所有者の手に渡る木材代をより多いものにするのが「低コスト木材生産システム」である。

森づくり現地見学会(バスツアー)は、低コスト木材生産システムを導入し、森林整備を行っている稲武町

森づくり 発表会

森づくり 講演

と旭地区の旭八幡町と押井町の森林を森づくり会議の役員約37人が約4時間にわたって見学した。稲武町と旭八幡町の森林は、18、19年に高性能林業機械を使って施業した森林24%。また、高性能林業機械による施業作業をつぶさに見学した。参加者は「機械を使って施業するには、団地化は不可欠だ。生産コストが30%削減できる効果は、大きい…」などと、話していた。

小峯地区 神殿地区 が発表

市内の人工林3万畧の内、約7割が手遅れの人工林となっている。この人工林を早期に解消するため、森づくり条例や基本計画に定めてある森づくり会議による森林整備に市、森林組合、所有者が協働して取り組んでいる。10月1日現在で、市内34地域で「森づくり会議」が発足。

発表会では、豊田地区の小峯地域森づくり会議と下山地区の神殿地域森づくり会議から取り組み事例が紹介された。主な内容は、次のとおり。

小峯地域森づくり会議 構成員/10人、設置日/平成20年5月1日、整備区域/小峯町、代表者/岡崎静香さん

代表者である岡崎さんは、防災士の資格を持つことから、「森林整備は防災に役立つ」との認識もあり、山に関心のない人への呼びかけを積極的に行った。森づくり会議の活動成果として①境界の杭入れ作業を通して、境界の明解化、親子で所有山林を歩くようになった、地

高性能林業機械による施業を見学/押井町(旭地区)





高性能林業機械を使っでの施業の説明を聞く参加者

会などに500人が参加

権者同士の協力関係が深まった。②山がきれいになることでイノシシなどの鳥獣の害が減少する、きれいな水が豊かになる…が期待されている。一方、仕事が忙しくて杭が入れられず、間伐ができない人、植栽した樹木に愛着が強く、間伐ができない人…などの対応が今後の課題として提起した。

神殿地域森づくり会議 構成員/39人、設置日/平成20年3月1日、整備区域/神殿町、代表者/松田敏明さん

「神殿地域は、40～50歳代の後継者となる若手が境界の杭入れを行った。この先、この地域の森林整備が急速に進むのでは…」と話した松田さんには、森づくり会議による森林整備の自信がみなぎっていた。「初めは判らなかつた境界も公図と施業図を片手に2～3回、山に入るとことで判るようになった。また、草刈りと同様、組の行事として実施したこともあって、全員の参加があつたことは良かった。一方、自治組織が主体となって、境界の確定から施業計画の策定まで一貫して行うことで、もっとうまく間伐が進むのでは…」と自治区との連携の大切さを訴えた。



森づくり発表会で事例発表を聞き入る参加者

もみじ市祭り開会式

組合長あいさつ (要旨)

恒例となっている「もみじ市祭り」は、当組合が年に一度、組合員と組合役職員が一同に介して、「組合運営を確かめ合う」というねらいでもって、開催している一大イベントである。「山のことを考え、行動しよう」が今年のまつりテーマ。例年と大幅に内容を見直しした。特に、「森づくり現地見学会(バスツアー)」と「森づくり発表会と講演会」は、今年、新しく計画したイベントである。これらのイベントは少々、堅い内容と受け止められる人もいるかもしれないが、山を取り巻く状況が大幅に変わったことの対応である。

バスツアーは、34カ所で設立した「森づくり会議」の役員を対象に、稲武地区と旭地区での団地施業の実態や高性能林業機械を使っでの施業を視察。今日現在、設立した会議において団地施業が行われている地区は、1カ所に止まっている。これを契機に森づくり会議を主体とする団地化が進むことを期待している。

森づくり発表会は、豊田地区の小峯地域と下山地区の神殿(かんど)地域の各森づくり会議から会議立ち上げの苦労、課題、その対応策と団地による施業計画づくりの取り組みなどの実態を発表。発表会に続いては、「国産材の需要動向と各地の動き」と題して、日刊木材新聞社 企画部長の石山様の講演を予定している。ご静聴をお願いする。昨年に引き続き実施するイベントとして、優良材品評会を始め、丸太値段当てクイズ、目立て講習会、木工品販売、林業機械の展示と販売、それに、足助木材協同組合の協力のもと、パネル展示や木製品の即売などである。

最後に、本日、ここにご参加いただいた皆様一人ひとりが森林整備に様々な方法で参画していただくことが、社会から大きく期待されている森林整備が大幅に進むものと確信している。子孫に残す素晴らしい森づくりを組合と一緒に、取り組むことをお願いし、あいさつとする。



開会式であいさつする 中根芳郎 組合長

子孫に残す素晴らしい森づくりを進めよう!

「国産材時代の実現には 森林組合の役割は大きい」



森づくり講演会で
日刊木材新聞社 企画部長
石山幸男さんが語る

もみじ市祭りのメインイベントである「森づくり講演会」は、森づくり会議の役員をはじめ、組合の役員、総代と一般公募で申込みのあった市民など約150人が聴講した。

「木材需要動向と国産材を巡る各地の動き」と題して、日刊木材新聞社企画部長の石山幸男さんが①住宅着工数と20年の需給見通し、②ロシア材丸太の輸出税率アップと対応、③各地の国産材産地の取り組み、④原木市場に変化、⑤国産材時代の実現に向けて、森林組合が果たす役割は…などを2時間わたり熱弁をふるった。中でも、次の点については、当組合にとって大きな示唆となった。

- 森林組合の加工体制については、森組は協同組合という組織体であるため、乾燥、コストの低減などフレキシブルな対応ができにくいことなどから加工専門業者に任せるべきではないか、と考えている。
- 製材工場に原木市場が機能吸収の方向が見られる。原木市場で仕分して製材工場へ納入する従来の流通から製材工場が必要とする原木を山から直接、受け入れる工場が動き出した。注目する動きである。
- 豊田森組の資料を見たとき、国が目指すところの低コスト林業を進めるための森づくり会議、団地施業、森のプランナーの育成など先進的な取り組みは、評価できる。今後、国においては益々、「選択と集中」をキーワードに支援が実施される。全国的にも注目されている「新生産システム」を取り入れている豊田森組の頑張りに期待する。



伐採、搬出コストの低減をめざして 高性能林業機械(ハーベスター・スイングヤーダ・フォワーダ)を導入

豊田森林組合は、この度、高性能林業機械(ハーベスター/1,990万円、スイングヤーダ/1,700万円、フォワーダ/1,090万円)を総額4,780万円で指名競争入札によって、アジア産業から購入した。この内、県・市からの助成金が3,824万円。組合負担は、956万円です。10月26日には、中根組合長ら役員、オペレーターが参加して機械施業の安全祈願を木材センター広場で実施した。(写真)

「これらの機械を導入したからには、機械を遊ばせることなく、稼働させることが組合経営上からも不可欠である。引き続き、職員上げて団地化による施業地の確保に取り組んでいく」と中根組合長は、あいさつをした。

豊かな森づくりをめざして 県があなたの森林を間伐します

所有者の
負担はなし

所有者の負担はなし！愛知県は公益的機能の高い「森林と緑」を県民共有の財産として位置づけ、保全していくために「あいち森と緑づくり事業」に着手する。この事業は、県民が負担する新税(あいち森と緑づくり税)でもって、①森林整備、②里山林整備、③都市緑化、④環境学習などを行う。特に、森林整備(豊かな生命の森整備事業)には、総事業費(10年間で約220億円)の50%が投入される見込み。そこで、来年度から始まる森林整備について紹介する。



知事賞に古橋会など 優良材品評会で12人を表彰

もみじ市祭りの恒例行事である「優良材品評会/もみじ市祭り記念市」には、46人から約700立方メートルの優良材が出品された。県森林整備課長を審査委員長とする審査会を10月22日に開催し、知事賞、市長賞などの各賞を決定した(受賞者名簿を参照)。これらの出材は、10月25日、開催された木材市で売却された。

知事賞に輝いた優良材の値段当てクイズを10月26日に実施。20人の応募者の内、落札価格(190,620円)に最も近い1等賞には、清水茂さんが輝いた。(当選者名簿を参照)



●優良材品評会(もみじ市祭り記念市)受賞者名簿

賞 名	所有者(敬称略)	住 所	樹種	樹齢(年)
愛知県知事賞	(財)古橋会	稲武町	ヒノキ	110
豊田市長賞	安藤貴美夫	五反田町	ヒノキ	130
豊田市議会議長賞	鈴木 鈴夫	細田町	スギ	100
愛知県森林組合連合会長賞	河合 悟	国谷町	ヒノキ	100
愛知県森林協会会長賞	伊藤 進一	明川町	ヒノキ	100
足助木材同業組合会長賞	熊野 神社	大沼町	ヒノキ	120
豊田森林組合長賞	林 富造	榊野町	スギ	120
豊田森林組合長賞	深見 市三	和合町	モミ	100
豊田森林組合長賞	和出 健治	野原町	ヒノキ	110
豊田森林組合長賞	杉野みつ子	北設楽郡東栄町	ヒノキ	130
豊田森林組合長賞	今泉 寿生	北設楽郡設楽町	スギ	100
豊田森林組合長賞	安藤 保徳	羽布町	ヒノキ	100

●丸太値段当てクイズ 当選者名簿

賞 名	当選者(敬称略)	住 所	回答金額	正解金額
1等賞	清水 茂	駒場町	185,000円	190,620円
2等賞	中根 寿夫	花本町	197,000円	
3等賞	松嶋 利光	日下部町	200,000円	



丸太値段当てクイズで2等賞となった中根さん



目立て講習会などにも 多くの人が参加

もみじ市祭り関連イベントとして開催したチェーンソーの目立て講習会(写真下)をはじめ、林業機械・器具やベンチキッドなどの木工品の展示・販売(写真左)には多くの組合員や市民が訪れ、目当ての品物を購入していた。



- 対象となる森林／①林道等から概ね300メートル以上離れ、林業経営上、採算性の悪い森林。または、作業性の悪い公道(国・県・市道)沿い概ね100メートル以内に位置する森林 ②16～60年生までのスギ、ヒノキの人工林(保安林は除外)
- 条件／①強度の間伐(本数率で4割以上)を実施すること ②20年間の皆伐禁止と林地以外への転用禁止などを盛り込んだ協定の締結が必要となる。
- 費用／間伐に係る費用は、全て県が負担する。森林所有者の負担は、ありません。
- 問い合わせ／豊田加茂農林水産事務所林務課(32-7361/内線353)または、豊田森林組合 業務課(61-1616)へ。

表紙の

人物紹介

今回ご紹介するのは、豊田森林組合作業班員福山豊さんです。福山さんは、平成18年に通称『緑の雇用』※の研修生として豊田森林組合に就業し、およそ1年間林業のいろはを学び、その後は作業班員として林業の仕事に携わっています。今年で3年目になる福山さんですが、仕事を覚えて自信がついてきた頃かなと伺ってみると「少し余裕ができて周りがみられるようになってきたが、まだまだ覚えることばかりだ」といいます。現在は、ベテランの親方に付き、2人で集材(山で切った木を集める作業)を専門にやっていますが、それぞれの現場によって条件は全く違うし、集材の仕事一つをとっても奥が深いそうです。林業の仕事は、他にも植林、下刈り、伐採と多様でそれらすべてを体で覚えるには…一生かかっても足りないくらいでしょうか。興味は尽きないようです。とはいっても決して楽な仕事ではありません。仕事に就いてみて、思ったより体力的にきつい、きたない、危険とまさに3Kの仕事だと実感したそうです。3Kのうえに、収入も安定していないこの仕事ですが、これからも続けたいかと問うと、迷わず「Yes」の返事が返ってきました。その理由をお聞きすると、自然に囲まれて静かなところで仕事ができること、やった分だけ自分に返ってくるところ、体を動かすと気持ちがいよことなどなど。他にも言い表せない魅力があるようでした。やった分だけ自分に返っ

てくるといことは、逆を返せばやったことが自分に跳ね返ってくるということでもあります。自己管理ができていなければ、自分の命も危険にさらされるし、仲間にも迷惑をかけるという厳しい面もあります。太い木を扱う時には、この木を何十年も前に植えた人がいるんだとふと思うこともあるそうです。先人が植えて育て、現在も生き続けている木を切って利用させてもらう。そんな謙虚な気持ちを持ち続けることが大切なかもしれません。これからしてみたいことを尋ねると、とにかく何でもやっけていろいろ吸収したい。とりあえずは林業作業をオールマイティーにできるようになりたいと熱く語ってくれました。こういった若者がいることは心強い限りです。組合職員も林業作業者が安定して仕事ができるよう、また少しでも木材の価値を高められるよう力を尽くしたいものです。

※『緑の雇用』とは

林野庁の補助を受けて全国森林組合連合会が実施している「緑の雇用担い手対策事業」のことで、通称「緑の雇用」と呼んでいる。受け入れ先として各林業事業体が研修を行い、事業体は全国森林組合連合会から補助が受けられる。研修生は事業体と雇用契約を結び、研修中は事業体から給料が支払われる。豊田森林組合でも毎年10名程採用し、道具の扱い方、下刈り、伐採、集材などの林業研修を概ね200日間行っている。



謙虚な気持ちを持ち続けることが大切

豊田森林組合作業班員 福山 豊さん(市内足助町在住 30歳)

● 森林学校ニュース ●

子ども森林自然教室

8月7日、8日と1泊2日、あすけ里山ユースホステルに宿泊しながらの講座でした。初日は間伐体験。夜にはライトに虫を集めて観察。カブトやクワガタもみられ、子ども達は大喜びでした。2日目の午前、川に入り網で生物をすくって観察。午後は森林の動植物の観察をしました。ムササビの姿もみられて大興奮。盛りだくさんの2日でした。



間伐ボランティア初級講座

9月13日から15日まで2泊3日、旭高原少年自然の家に宿泊しながらの講座でした。森林調査した後、間伐の方針をたて、選木、基本的な伐倒の研修を行いました。皆さん熱心に学んでいただき、交流会も盛り上がりしました。今後も活動していきたいという意見も多く、これからが期待されます。



自力山主 間伐講座

今年から始まった新講座です。9月25日から5日間の講座で、9名の山主さんが参加しました。山造りの考え方から始まり、チェーンソーの使い方、基本的な伐倒方法など学びました。チェーンソーメンテナンスでは、切れなかったものが切れるようになり、驚きでした。これから持山の間伐をしていく足がかりができたようです。



組合員へのお知らせ

第5回理事会から

総代・役員の選出日程など 9件を承認する

11月19日、豊田森林組合会議室で第5回理事会が開催され、総代、役員選出の日程をはじめ9議案が承認、決定された。主な内容は、次のとおり。



第3回通常総代会に参加し、採決する総代の皆さん

総 代

現在の総代(第1期)の任期は、来年3月31日までとなっている。このため、次の(第2期)総代の選出が必要となり、当組合の定款、総代選挙規程によって、理事会において総代選挙日程などが次表のとおり決定された。なお、総代は、当組合の最高意志決定機関となる総代会に出席し、組合長が提案する案件の可否を決するという重要な役割を担っている。選挙区ごとの定数は、次表のとおりです。

役員(理事、監事)

現在の理事(組合長を含む)や監事の任期は、来年開催される第4回総代会の当日までとなっている。このため、次期(第2期)役員の選出が必要となり、定款や役員選任規程による役員選出の日程などが理事会で決定された。選挙区ごとの理事、監事の定数は、次表のとおりです。

理事は、理事会を構成し、総代会で決議された事柄を着実に執行する役割を担い、組合経営の責任を負うという重要なポストです。また、監事は、組合事業の執行を監査し、健全な組合経営を担保する役割を担っている。なお、代表理事組合長は、理事会の議決により理事の中から選任され(定款34条)、当組合を統括するという任務を負う。

■総代・役員等の定数

(単位:人)

選挙区	総 代	役 員		
		役員推薦会議	理 事	監 事
豊田	30	6	3	1
小原・藤岡	30	4	2	
		6	3	
足助	50	8	4	1
下山	30	6	3	
旭	30	6	3	1
稲武	30	6	3	
全域	200	42	21	3

■総代選出の日程

期 日	内 容	備 考
平成20年11月19日(水)	総代選挙日程などを決定	第5回理事会
平成21年3月9日(月)	第2回総代選挙の公告	本所、支所などで選挙日程を掲示
平成21年3月9日(月) ～3月19日(木)	立候補、総代候補者の推薦の受付	受付終了後、定員を超えなかった場合は、無投票とし、3月20日には当選者の決定、公告を行う。
平成21年3月23日(月)	第2回総代選挙	定員を超えない場合は、無投票となり、選挙は実施しない。
平成21年4月1日	第2期 総代就任	任期は、平成21年4月1日～平成24年3月31日

■役員(理事・監事)の選出の日程

期 日	内 容	備 考
平成20年11月19日(水)	役員選出日程などを決定	第5回理事会
平成21年2月上旬 ～4月中旬	役員推薦会議の設置と 役員候補者の推薦	選挙区ごとに推薦会議を設置。会議において理事・監事候補者を人選し、組合長に推薦する。
平成21年4月24日(金)	役員候補者の推薦届け書の 受付締切	
平成21年5月中旬	理事会で総代会に提出する 役員提出議案を決定。	組合長は、推薦のあった役員候補者を審査し、役員選出議案を作成し、理事会に提案する。
平成21年6月下旬	第4回総代会で役員選任を 議決する	任期は、総代会開催日の翌日から3年間。

就業規則をはじめ、 関係規則、規程を見直し

組合事業を進めるため、作業員を含め200人余の職員が働いている。これらの職員の服務、就業など決めているのが就業規則をはじめ作業班員就業規則、職員給与規程、退職給与規程などである。組合統合時、制定したこれらの規則、規程は、統合後3年が経過した中において、当組合の運営、経営に即した規則、規程にするため、今回、一部改正を行った。

【見直しのねらいと視点】

①豊田森林組合就業規則を真に、組合職員がいそいそと働き、また、活力のある職場づくりを目指すための就業規則とする。②組合の自主・自立と組合員へのサービス向上という当組合の運営、経営理念の実態に即した就業規則、関係規則とする。③職員の能力開発、業績評価に視点を置いた就労環境に整える。④高齢者等の雇用安定等に関する法律の施行に対応する。⑤豊田地域において、類似団体との均衡を図る。⑥適正な用語の表記にする。なお、一部改正した規則・規程は、①就業規則、②職員給与規程、③職員退職給与規程、新しく制定した規則は、①パートタイム職員就業規則、②嘱託職員就業規則です。

購 買 品 注 文 書

苗木などをご希望する人は、キリトリ線で切り取って、苗木注文書を最寄りの支所か本所まで持参するか、郵送またはファックスにてご注文下さい。〔FAX (0565) 61-1617〕

注) 苗木については、3月中旬に配達を予定しております。

(市外の方は配達できません。森林組合事務所にてお渡ししますので、ご了承ください。)

締切り／平成21年1月30日(金)までをお願いします。

注文日／平成 年 月 日

※この注文表は税込価格になっています

ご 依 頼 主		郵便番号	住所		地域名に ○を付けて 下さい。	足助 下山 旭 稲武 豊田 小原藤岡					
		氏 名		印	電話番号						
苗木関係資材の単価						果樹・街路樹・庭公園樹・緑化木の苗木					
山行苗											
番号	樹 種	規 格	用途	単価	数量	番号	樹 種	規 格	用途	単価	数量
80-01-1	ス ギ	3年生 45cm上	山植	118		80-13-6	梅 苗	白加賀	(中生)	850	
80-01-2	挿スギ	2年生 45cm上	山植	111		80-13-5		南 高	(中生)	850	
80-02-3	ヒノキ	3年生 45cm上	山植	118		80-13-2		小 梅	(早生)	850	
80-02-5	ヒノキ (ライフバック入)	3年生 45cm上	山植	124		80-15-2	柿苗(甘柿)	富 有		1,000	
80-02-2	ヒノキ	2年生 25cm上	畑植	60		80-15-3		次 郎		1,000	
80-02-1	ヒノキ	1年生 8cm上	畑植	19		80-15-4		筆 柿		1,100	
80-03-6	黒 松	30cm上	山植	65		80-15-1	渋 柿	蜂 屋		1,000	
80-03-3	赤 松	30cm上	山植	77		80-15-6		富 士		1,000	
※スギ・ヒノキ・マツの注文については、25本単位でお願いします。 ※ライフバックの注文については、150本単位でお願いします。						80-16-2	栗 苗	丹 沢	(早生)	850	
						80-16-3		伊 吹	(中生)	850	
80-06-1	クヌギ	45cm上	山植	95		80-16-4		銀 寄	(晩生)	850	
80-05-1	コナラ	45cm上	山植	95		80-16-5		利 平	(晩生)	850	
80-04-2	ケヤキ	1.0cm上	山植	160		80-27-1	プルーン	シュガー	☆	900	
80-14-1	ヤシャブン	1年生根元径4ミリ	山植	47		80-29-1	実桃苗	白 桃		1,000	
						80-29-2		大久保		1,000	
その他の資材 (その他の資材は各連絡員又は個人宛に配付します)						80-31-1	ユズ(大実)	2年生		1,200	
73-01	薬 剤	ザイトロン(5kg) (クス類)		4,725		80-07-4	吉野桜	苗木1.5m		650	
73-02		フレノック(2.5kg) (笹・ススキ類)		2,940		80-07-9	八重桜	苗木1.5m		700	
						80-07-8	大島桜	苗木1.5m		700	
						80-07-10	山 桜	苗木1.0m		450	
						80-07-6	シダレ桜	苗木1.5m		1,100	
72-01	山林肥料	住友肥料(15kg)		2,730		80-19-3	イチョウ	実(ツギ木0.6m)		1,250	
						80-12-1	イロハモミジ	苗木1.0m		450	
73-07	忌避剤	ヤシマレント		2,835		☆3本以上をおすすめします。					
		苗木を害獣から守ります									

森林組合に対しての要望・意見がありましたらご記入ください。

※ご質問・ご不明な点は、森林組合各支所へお問合せください。

足 助 本 所／TEL(0565)61-1616 FAX(0565)61-1617 豊 田 支 所／TEL(0565)41-2010 FAX(0565)41-2130
小原藤岡支所／TEL(0565)65-2003 FAX(0565)65-1727 下 山 支 所／TEL(0565)90-2124 FAX(0565)90-2322
旭 支 所／TEL(0565)68-2821 FAX(0565)68-2830 稲 武 支 所／TEL(0565)82-2032 FAX(0565)82-3020